

「(仮称)白岡町自治基本条例(白岡町まちづくり条例)をつくる会」

第3回勉強会の概要

日 時 平成21年9月6日(日)午後1時30分～4時52分

会 場 庁舎4階 特別大会議室

出席委員 飯島、五十嵐、内山、遠藤、神田、日下、古嶋、櫻井、佐々木、
(敬称略) 嶋津、利根川、橋本、平田、藤巻、松井、金子、吉野

学識経験者 牛山教授

町職員(事務局)等

折原、鈴木、岩楯、神田、山岸、高山

配布資料 別添のとおり

1 本日の内容

「白岡町の良いところ、悪いところ」として委員が挙げた項目を各分野に分類した別紙1を基に、多くの委員が関心を持っている分野について、条例の素案に盛り込む項目と関連付けながら、別紙2のとおりまとめた。

この別紙2を土台として、項目の分類や内容について追加及び修正作業を行った。

2 委員の主な意見

(1) 「全体」について

ア 大都市近郊でありながら緑が豊かという意見が多いので、「環境の保全」を追加してはどうか。

イ これからは国際化の時代であるし、外国人の考えも取り入れながらまちづくりを進めることで、住民のモラルも向上すると思う。

ウ 皆を巻き込む求心的なもの(特徴)を出したい。住民に周知しやすい分かりやすいものがよい。

エ 特徴は、見て分かるものでなく、精神的なものが良い。

オ 住民・行政(議会も含む)の権利と義務について盛り込んだほうが良い。

(2) 「行政」について

ア 「白岡町住民協働町民推進会議」で今まで住民協働について話し合ってきたので、「住民協働」を追加したい。

イ 行政だけでなく、NPO団体なども情報公開をしないと現状などが分からないので、「情報公開」を入れてはどうか。

ウ 住民と協働するのであれば「情報共有」ではないか。

エ 生活する上で関わる近隣市町との関係についても触れたほうが良い。

オ 住民投票も加えたほうが良い。

カ 職員のレベルアップの仕組みが必要である。

キ 町長、議員についても載せたほうが良い。

牛山教授

「情報公開」、「情報共有」については、行政の透明性という点で、行政の仕組みに入れるか、住民参加のところで入れるか、全く別枠でつくるか。今後検討が必要である。

(3) 「政策」について

ア 遊休農地の問題もあるので「名産品」でなく、「農業」は別の項目としたほう

が良い。

イ 農業を入れるなら、税収の面でも工業団地への誘致などが大事であると考えられるので「工業」もあると良い。

ウ 商・工業でひとくくりとしても良いと思う。

エ 合併反対が多かったので、自立してやっていくことを盛り込んでどうか。

オ 人材を活用するための制度（共助のしくみ）について、「政策」の中で盛り込んでどうか。

カ 「都市計画」を追加した方が良い。

キ 福祉を入れていただきたい。

牛山教授

フォローアップとして、市民参加条例などをつくる団体が多い。

(4) その他

条例ができたと仮定し、条例が守られるか等のフォローアップの仕組が政策として必要ではないか。

今後は、これらの項目を踏まえ、さらにワークショップをとおして項目を追加し、条例の素案づくりを行う。

3 委員からの質問・要望

(1) 「白岡町の良いところ、悪いところ」の表について

「判断保留」とした項目について、「悪いところ・どちらでもない」に含まれており、悪いところと思われるまいや、別に分けるか削除していただきたい。

→ 別枠を設けることとする。

(2) その他

「（仮称）白岡町自治基本条例（白岡町まちづくり条例）制定審議会」との関係

→ 制定審議会では、皆さんが作成した条例素案を踏まえ、条例としての文言などを修正し、町議会に条例提案をする組織である。

4 次回の日程・内容

次回は10月3日（土）午後1時30分～

内容は、会長・副会長の選出、その後ワークショップでさらに議論を深める。

（仮称）白岡町自治基本条例
（白岡町まちづくり条例）をつくる会
第3回勉強会



日 時 平成 2 1 年 9 月 6 日（日）
午後 1 時 3 0 分 ～ 5 時
場 所 庁舎 4 階 特別大会議室

白岡町 町民活動推進課

「(仮称)白岡町自治基本条例(白岡町まちづくり条例)をつくる会」勉強会
実施要領

1 名 称

「(仮称)白岡町自治基本条例(白岡町まちづくり条例)をつくる会」勉強会

2 テーマ

「なぜ今、自治基本条例か」(3回目)

3 趣 旨

町では、皆さんのさまざまな白岡町に対する“想い”を、これからの新しい「まちづくり」の中に活かしていくためには、皆さんと協働して「まちづくり」に取り組むことが、何より必要ではないかと考えています。

そこで、皆さんと「まちづくり」って何？どうしたら“想い”が「まちづくり」につながるの？を「かたち(ルールとして定めること。)」にするため、「自治体の憲法」といわれている「(仮称)白岡町自治基本条例(白岡町まちづくり条例)」の制定に向けた取組をスタートさせました。

この勉強会は、皆さんがこれから取り組む(仮称)白岡町自治基本条例(白岡町まちづくり条例)」の制定に当たり、条例の意義や内容について、より理解を深めていただくために開催するものです。

4 日 時

平成21年9月6日(日) 午後1時30分～5時

5 内 容

(1) 「勉強会」

テーマ 「なぜ今、自治基本条例か」(3回目)

～ 住民・議会・行政の仕組みと役割、自治会や地域コミュニティの将来像、市民活動の可能性 ～

講 師 明治大学 政治経済学部 教授 牛山 久仁彦 氏

(2) 「勉強会」

ア 勉強会 についての質疑等

イ 情報交換会

テーマ 「これからのまちづくりへの想い」

内 容 【白岡町の良いところ、悪いところ】の一覧表を基に情報交換を行い、つくる会全体として共有します。

6 場 所

白岡町役場庁舎 4階 特別大会議室

（仮称）白岡町自治基本条例（白岡町まちづくり条例）をつくる会
第3回勉強会

1 日 時 平成21年9月6日（日） 午後1時30分～5時

2 場 所 町役場4階 特別大会議室

3 勉強会の目的

皆さんがこれから取り組む「（仮称）白岡町自治基本条例（白岡町まちづくり条例）」の制定に当たり、条例の意義や内容について、より理解を深めるために実施するものです。

4 プログラム

時間の目安	内 容
13:30	開会
13:30～13:35 (5分)	本日の進め方について
13:35～14:15 (40分)	勉強会 テーマ 「なぜ今、自治基本条例か」(第3回目) ～ 住民・議会・行政の仕組みと役割、自治会や地域コミュニティの将来像、市民活動の可能性 ～ 講 師 明治大学政治経済学部教授 牛山 久仁彦 氏
14:15～14:30 (15分)	休憩
14:30～16:45 (途中休憩含む)	勉強会 1 勉強会 についての質疑等 2 情報交換会 テーマ 「これからのまちづくりへの想い」 内 容 【白岡町の良いところ、悪いところ】の一覧表を基に情報交換を行い、つくる会全体として共有します。
16:45～17:00 (15分)	1 会長及び副会長の選出について 2 今後の進め方等について 3 その他
17:00	閉会

分類	良いところ（伸ばす・活かす）	悪いところ（改善する）	
(1) 町全体の 特徴	・新旧混成型田園都市	・全体として特徴のない町となっている。 ・町としての特徴がない。 ・白岡の魅力を発信するコンセプト(こだわり)がない。 ・まちづくりにポリシーがなく、コンセプトも極めて曖昧である。 ・新旧混成型田園都市	
(2) 立地 ・ 交通 ・ 住環境 ・ 自然 ・ 地形 ・ 街並み ・ 景観	・東京都心から40km圏に位置し、都心への通勤圏にある。 ・町内にＪＲの駅が二つある。 ・企業誘致に有利(交通、首都圏・・・) ・自動車交通の要衝 ・都心へのアクセスの良さ。東京面、新宿方面ともに1時間以内で行け、またＪＲの駅が2つもある。 ・白岡町の位置（都心への通勤圏） ・ＪＲの駅が二つある。 ・首都圏にありながら比較的静かな環境 ・生活圏への大型車両等の進入が少ない。 ・大都市に近接 ・交通が便利 ・東北自動車道路の久喜インターチェンジが近くにあり、現在建設中である首都中央連絡道路の開通後は、常磐方面・房総方面・上信越方面への玄関口として位置づけられる。さらに、ＪＲ宇都宮線に2つの駅を有し、交通網が整備された利便性に恵まれている。 ・生活圏として、中規模店舗(スーパー等)、医療機関、金融機関が存在し、日常生活を送る上で、不便さを感じさせない地域である。 ・首都圏である。 ・都心から40km、さいたま市にも隣接し、東北道インターも近く、交通アクセスが良い。 ・風俗店が少ない。 ・アパートが少ない。 ・空き地が多い。 ・のどかな田園風景がまだまだたくさん残っており、のんびりした雰囲気がある。 ・町全体が平坦地、住宅地に適す。 ・空気がよく、静かな景観は今後も維持できれば良い。 ・緑が多く、昨今環境問題に関心が集まっている中、住環境としては良い。 ・田園風景や街並みが美しい。個人的には田園風景が美しいと思うが、このごろテレビ番組や映画で白岡町の住宅地が使われていたりする。街並みも美しいようだ。 ・緑が多い自然が、まだまだある白岡を大切に ・緑が多く、また、住民がそれを好いている。 ・都心に近く、なおかつ自然が豊かである。 ・自然が多い。 ・自然がある。 ・里山の自然があり、それを育んだ歴史と文化が残る。 ・平均点よりちょっと下の町 ・そこそこ便利	・町内間のアクセスの悪さ。都心へはアクセスが良いが、(自分で車を運転できない町民には)町内間の行き来が不便に思える。採算性の面からも、循環バスがなくなってしまったのは仕方ないと思うが、代替手段はないだろうか。 ・白岡町の位置（農業後継者、新旧住民etc） ・駅周辺の賑わいはいまひとつ ・駅の中核となる駅周辺の整備ができていないこと。 ・白岡駅西口の開発(駅を、降りた時ほっとできる様な魅力ある駅前) ・生活圏を含め、道路環境整備が遅れている。 ・白岡駅付近の道路が狭い。歩行者が安全に歩ける道、広場、アグラ(都市国家の中心街にある広場)などがほしい。 ・白岡駅の西口・新白岡駅の東口において、駅前広場の朝夕(深夜)の混雑。 ・白岡町は首都圏への通勤圏として住宅都市(ベッドタウン)に発展させるには、ＪＲ宇都宮線を通勤快速の停車駅、湘南新宿ラインの増発、始発と最終列車の時間の延長を実現させることにある。 ・二つのＪＲ駅があるにも関わらず他の交通手段が整備されていないため、人の移動は自家用車に頼ることになり、駅前の商店街に来る客は減少する一方である。 ・バスの廃止などにより、地上交通の地域格差ができ、陸の孤島化感ができ始めている。 ・町外から来た人にとっては、特に特徴のある自然とは感じられない。 ・街並みが不揃い(中層ビルの乱立。周辺に緑地が少ない。景観が悪い。色彩を揃えてほしい。高層住宅地、低層住宅地に区分けし、高さを揃えてほしい。) ・平均点よりちょっと下の町ということは、妥協の結果としての「住みか」として白岡町を選んだという場合も考えられるのではないかと？Loudminority(騒がしい少数派 一部の住民)への配慮が必要ではないか？ ・そこそこ不便 ・美観の悪い店・家(赤・黄の原色)	
(3) 商業 ・ 農業 ・ 産業 ・ 特産 ・ 観光 ・ 文化 ・ 歴史	・梨の生産量は、埼玉で上位であり、味も良い。梨関連の商品も考案販売されている。駅前に物産館も最近設置されている。 ・梨のまち白岡 ・特産品(梨)がある。 ・梨がおいしい。 ・取立てで新鮮な野菜が入手しやすい。 ・優れた農業技術と営農の伝統がある。 ・新しい文化と古い文化が調和している。 ・歴史がある。 ・水と緑のふれあいロード ・町名・地域名・文化財・歴史的価値があるものが多い。(大切にしたい。) ・特産品(梨・・・)のPR 観光資源化	・梨の生産以外には、特に自慢できるような産物が少ない。 ・特産品があるが、それに従属した商品の魅力がない。 ・農村から脱皮していない。 ・農業を支援する対策が貧弱である。 ・駅周辺の商店街は、賑わいがなく活性化されておらず、住民が楽しんでいろいろな買い物ができるというようなメニューづくりに乏しい。 ・商店街の活力不足 ・街に活力がない。 ・駅前の整備。白岡駅東口、新白岡東口・西口は駅前であるにも関わらず、閑散としている。商店街の活気がなく、消費者は郊外的大型ショッピングセンターへ車で出かけているようだが、将来、町の高齢化が進み運転ができなくなってくる町民が増えると、商店街がないと困ることになると思う。 ・商店街がさびれている。(住民が一体となって考えなければならないと思う。) ・街の活性化の欠如 ・店が活性していない。 ・若い人にとって魅力的な街とは言えず、消費活動はより都心で行われているように感じる。 ・都市化が遅れている。 ・有名な史跡、神社、仏閣がない。 ・特産品(梨・・・)のPR 観光資源化 ・自然観光資源がない。 ・「田舎」と言われればそれまでで、これといった観光名物もなく、レジャー施設もほとんどない。 ・誇れるもの(ランドマーク)がない。	

白岡町の良いところ、悪いところ

分類	良いところ（伸ばす・活かす）	悪いところ（改善する）	
(4) 住民・ 気質・ 風土	・リーダーの質高い ・住民があいさつ運動を率先して行っていくまちづくりを実践する。 ・風土として保守的であるように感じる。見方を変えれば慎重であるとも言える。 ・町民が温厚であること。 ・子供達が、素朴で素直(今の環境を維持) ・町民がおだやか ・子供が素直 ・人間性がおおらか ・出身地が異なる人が多い。 ・人口が少ない。 ・地味が豊か ・比較的素直 ・町外で従業する町民は67.1%で、都内に通勤する町民は全就業者の22.9%、さいたま市に通勤する町民は14.1%となっており、そのほとんどがサラリーマンである。 ・小中学校の子供達は、町外の学校と比較して、荒れておらず落ち着いていると言われている。 ・白岡町の中学校は、素直な生徒が多いと言われている。 ・町の規模が小さい。人口が少ないので、「自分たちの町」という意識が持ちやすいのではないかと。団結しやすそうに思える。	・先進的もしくは革新的なことはあまり行われない。大きな成功もしないが大きな失敗もしない。 ・女性・男性の役割分担意識が残っている。白岡町に限らないと思うが、しつこく残っている。 ・自分以外のことに関心が低い。 ・行政と町民の連携が弱い。接触が足りない。 ・指導者の欠如 ・積極性の欠如 ・眼が外部へ向けられ過ぎている。 ・新住民と旧住民のトラブル ・公園での犬・ゴルフ等のマナーが悪い。 ・loudminority(騒がしい少数派 一部の住民)にへつらっているのではないかと？再点検が必要ではないか？ ・町に活気がないこと。 ・税収を考慮した場合に、若者による所得者人口の確保に対する懸念。(流出の抑制と定住による活性化を図る。) ・新住民を受け入れていない。借家人など短期滞在者は旅人であり、旅人への態度がボランティアであることは、豊かな社会のしるしなのだが、私の行政区では新旧住民が全く融合していない。 ・自立心が薄いような気がする。それで自律圏になれないのか。 ・工夫がない。意地がない。 ・言いなり ・(首都圏であるため)自立心をそぐ ・ゴミのボイ捨て ・無灯火運転の自転車が多い。(自転車のマナーが悪い。)	
(5) コミュニ ティ・ ボラン ティア 活動・ 地域活 動等	・多岐に亘る活動活発 ・高齢者の方が積極的に地域活動に参加している。 ・その気になれば町内の人間関係は把握可能(旧い地縁共同体が残っている場合がある。) ・当町におけるNPO法人の設立は7団体、ボランティア団体は社会福祉協議会への登録団体が22団体とそれらで組織する白岡町ボランティア連絡会があり、多くの団体が熱心に活動している。 ・社会教育関係団体の登録数が91団体、生涯学習人材バンクの登録者数が106人、登録団体数56団体、このほか、各種サークル、同好会、業者団体など様々な団体や集まりが存在している。 ・住民の交流への意欲が高い。 ・高齢者の活動(いきいきサロン)が盛ん	・旧住民と新住民が混在した地区においては、意識の違いや年代の差もあり、住民自治活動が停滞している傾向が認められる。 ・行政区の活動は、指導者やリーダーの不足から停滞傾向であり、地域活動や市民活動に参加する人も少なくなっている。 ・昼と夜の人口の差が大きく、また、自営業(商店、事業所、農家)の減少、大規模マンションや新興住宅の増加など地域社会の変遷を通して、地域コミュニティが成り立ちにくくなっている。 ・新旧町民混住の町は、町民相互のコミュニケーションが不足し、近所付き合いが疎遠になっている傾向が見られる。 ・行政区等の役員や世話役などを引き受ける人の減少 ・現役世代は、町の自治やコミュニティづくりに関心が薄く、活動の中心は高齢者や女性に限定される傾向があり、様々な年代を横断した形での、コミュニティ作りが困難になっている。 ・団体相互の交流や協働した活動が少ないように思われる。各団体が交流できるシステムが確立できていない。社会福祉協議会では、調整能力に限界がある。 ・地域のコミュニティネットワークの欠如 ・旧い地縁共同体を把握していないと地域の人間関係に入り込めない場合がある。(ただし、これはどの自治体でもあり得ることではないだろうか？) ・白岡町内のNPO法人、各種サークル等の連絡先、内容が分かる一覧表の整備が必要 ・行政がNPO団体の設置、人材開発を怠っている。 ・若者の地域行事への参加が少ない。つくる会のメンバー構成を見ても、若い人が少ない・・・。 ・町の行事や住民活動においてほとんど同じメンバー ・地域リーダーや団体リーダーを育むシステムがない。 ・住民が交流し、この成果を蓄積するための支援システムが乏しい。 ・参加者が限定 ・旦那、旦那社会が幅を利かせている。人徳があったり、論理的であればよいのだが、真逆でかつ特権意識が強く、支える取り巻きが多い。都市化、近代化から取り残されている。役場も直そうという姿勢がない。(例:議会、従来の行政区)	
(6) 教育・ 子育て・ 福祉 分野	・生涯学習活動の推進に力を入れている。 ・学校教育の質が高く、父母の信頼も比較的高い。 ・ベビーベッドの貸し出しや小学生の登校時の安全対策など、子供に対する配慮をしようとしている。	・学校と地域との協力が、一部の学校を除き不足しており、閉鎖的である。 ・青少年育成が不十分である。 ・学校(教職員&学力支援・学校応援団・・・) ・少子高齢化 (若い人たちにどうバトンタッチをしていくか世代交代の問題もある。) ・子育て支援が不十分である。 ・予測される急速な高齢化人口に対する懸念。 ・他市町に比較し、健康保険税が高いと感じる。 ・福祉(子育て・高齢者・・・)	

分類	良いところ（伸ばす・活かす）	悪いところ（改善する）	
(7) 行政・ 基盤整備・ 公共施設	・職員の勤勉性、自己啓発 ・企業経営の利点導入 ・合併をしない白岡町（財政面、議会も含め行政のこれから先への見通しと覚悟） ・白岡町には「まちづくり」に意欲のある職員がいる。（地味だけれど大切なことだと思う。） ・役場の職員の資質が優れていること。 ・公共施設が整備されていること。 ・歴代の町長が素晴らしい人格者であった(ある)こと。 ・運動施設が充実している。 ・役場など職員の対応が親切なこと。	・財政状況の悪化 ・行政の方向性不明確、啓蒙不足(合併・・・) ・企業経営の利点導入 ・スーパーヤオコーと山王クリニックの道路(高速の下のトンネルが冠水すると車が通れない。排水能力が足りないのではないか。) ・合併をしない白岡町（財政面、議会も含め行政のこれから先への見通しと覚悟） ・公共下水の普及が遅れていること。 ・消防署の再編が進まないこと。 ・図書館の設立が進まないこと。 ・コミセン・中央公民館が手狭なこと。 ・行政と町民の連携が弱い。接触が足りない。 ・図書館の機能が乏しい。 ・集会所の欠如 ・行政の方向性(意志)がはっきりしない(合併問題) ・文化施設が貧弱。 ・文化施設が著しく遅れていること ・まちづくりのビジョンが広く公開されていないこと。 ・運動公園が汚いこと(民間に運営を移管して以降) ・政策が実現されていない。(一方通行、ゾーンニングなど交通規制がされていない) ・国、県に極めて忠実であった。 ・町おこしの目玉施策(おらが町の自慢) ・新白岡駅前のスーパーマーケット用地が長期間空き地になっている。早く何らかの処置をお願いしたい。 ・住環境としては申し分ないが、目に見える住民サービスについては、評価が低いのではないだろうか？(特に流入してきた住民の方々と古くからの住民との間の価値観の相違による問題があるように感じる。)	
(8) 安心安全	・ブローケンウィンドウの法則に当てはまるような廃墟や建物もなく、治安はいいと思う。 ・繁華街のような人が多く集まるようなところが少ないことから、必然的に事件なども少なくなる。 ・防犯意識が高い。 ・治安が良い。 ・事件・事故が少ない。 ・子供たちを外で見かける機会が多い。(白岡駅周辺地区等で。比較的安全ということか？) ・住環境として申し分なし。 ・自然災害がほとんどないこと ・重大犯罪、火災などがほとんどなく、静かで住みやすい環境が保たれていること。 ・平地で、温暖な気候に恵まれ、大きな風水害(台風等)も少なく、安全で安心して生活を送れる地域である。 ・自然災害が少ない。九州地方のようにしょっちゅう台風が通過していくわけでもなく、東海地方ほど大規模な地震の心配もなく、雪害等もない。安心して暮らしていくには、自然災害がないことが一番だと思う。 ・自然災害が少ないこと。	・安心安全(防犯・防災・環境・食・・・) ・空き地、遊休農地の雑草(見通しが悪く事故、犯罪につながる)	

良いところ・悪いところは表裏一体

【表の作成に当たって】

- 良いところ、悪いところのどちらにも取れるものについては、「悪いところ」に含めた。また、良いところ、悪いところどちらにも取れるもの等については、両方に含めた。
- 委員の発言を尊重し、分かりにくい言葉については「 」で簡単な説明をつけた。
- 委員の意図する分類と違う場合もあるかもしれないが、似たような内容のものをおある程度くくった。

条例に盛り込む項目案 (9 / 6 現在)

委員が挙げた「白岡町の良いところ、悪いところ」のうち、多くの委員が関心を持っていた項目を整理したもの及び追加したもの (牛山教授による)

() の中の数字は「白岡町の良いところ、悪いところ」のシート (別紙 1) の分類

全体 (1)	大都市近郊の町			
	人口増加			
(2)	交通利便性			
(4)	住民の状況		住民・町民	
行政 (5)	コミュニティ		N P O ・市民活動	
(7)	行政 財政		協働 地域問題	
	地域コミュニティ		施設 行政・公共サービス	
	議会			
政策 (3)	名産品		商業	
(6)	文化・歴史			
(8)	少子化や子育て		教育	
	治安		高齡化	
	災害対策			

上記について、追加・修正等を検討した方が良いもの (委員の意見)

全体 (1) 環境、外国人、特徴、理念、内発的発展
(4) 住民の権利・義務
白岡町ってどんな所？

行政 住民協働・・・(5) ~ 、 (7)
情報公開・・・(5)
情報共有・・・(5) \ (7)
広域行政 (他自治体との協力)
住民投票
職員、町長・議員のあり様

政策 (3) 農業、工業・商業
自立 { 政策的
 理念的
都市計画
(6) 福祉 (少子化・子育て・高齡化)

共助のしくみ

その他 条例のフォローアップ (委員会等)

いずれも、今後のワークショップで再検討